

令和4年9月7日

人間発達文化学類・新井浩教授
福島市写真美術館 三人個展での龍角寺欄間の一部公開

人間発達文化学類の新井浩教授は、郡山市龍角寺の依頼により本堂欄間制作を行いました。この度、中間報告として福島市写真美術館において、下記のとおりその一部を一般公開します。

公開作品は本堂欄間7枚のうち左右4枚、中央脇2枚の構想デッサン、及び下図、配置図など14点を予定しています。

左右4枚は表4面が釈迦本生譚から題材を取り上げました。「鹿野苑の鹿王」「牛の恩返し」「ウドウンバラ樹とオウム」「ウサギと月」では釈迦の前世での修行をもとに、人の生き方についてまとめました。裏4面が瑞獣を取り上げました。「鳳凰」「応龍」「麒麟」「靈亀」では平和で落ち着いた世に現れるとされる瑞獣の姿に託して、平和への想い・願いを表しました。

制作は平成30年(2018年)より開始し、令和5年(2023年)に完成予定で、全長13メートルになる予定です。

記

日 時：令和4年9月7日(水)～27日(火)

9:00～16:30(最終入館16:00)

場 所：福島市写真美術館

内 容：福島市振興公社賛助会事業「三人個展」

福島大学教授 国画会会員 新井浩

一水会常任委員 県美術家連盟会長 酒井昌之氏

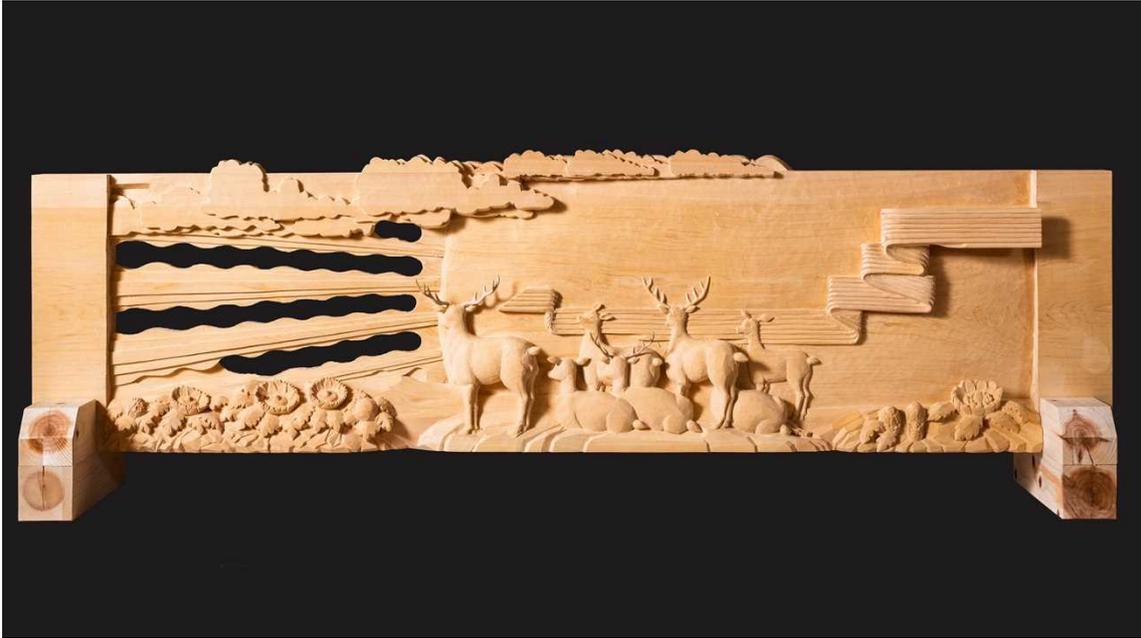
モダンアート会員 県美術家協会常任幹事 大町亨氏



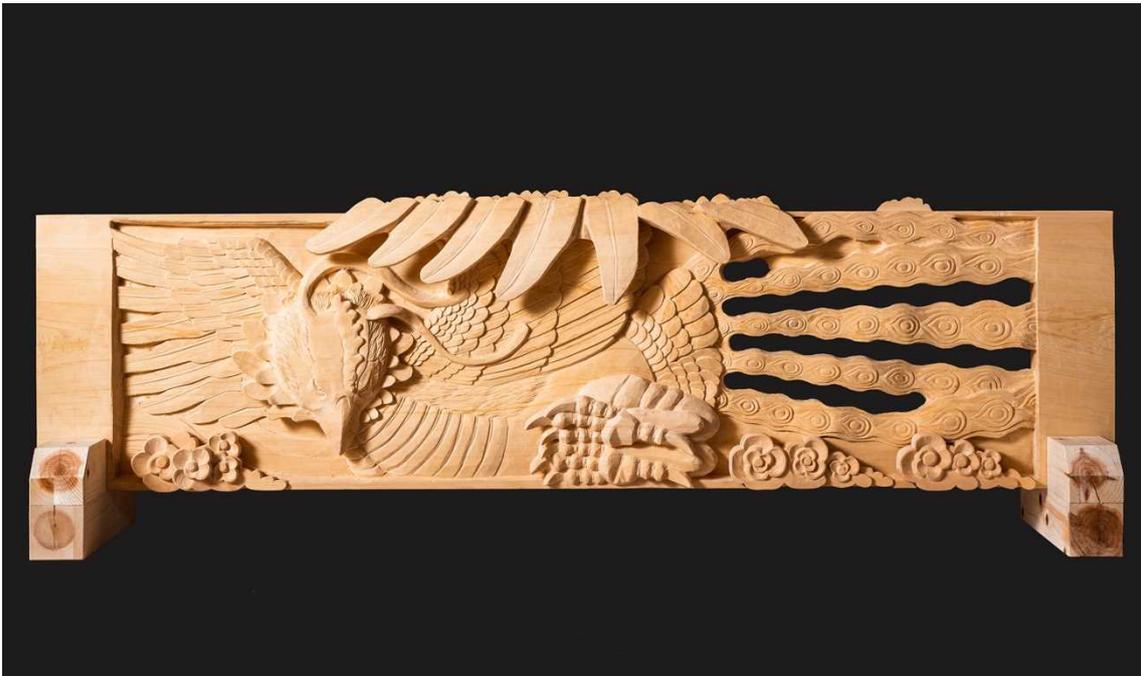
「釈迦本生譚四二九 ウドゥンバラ樹とオウム」



『麒麟』



「釈迦本生譚 十一 鹿野苑の鹿王」



「鳳凰」

(お問い合わせ先)
人間発達文化学類・教授 新井 浩
電 話 : 024-548-5212
メー ル : arai@educ.fukushima-u.ac.jp

